

CADPACCREATOR 2D Ver.24.0

新機能・追加機能 概要

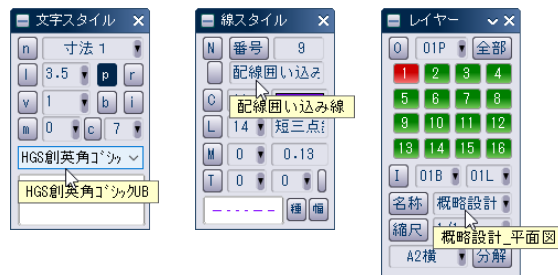
| | | | |
|-----------------------------|---|-------------------------------|----|
| ■汎用機能 | | ■新世代機能 | |
| 1. ニュートラルモード | 2 | 23. 部品図作成 | 9 |
| 2. 右パネル | 2 | 24. ダイナハンドル | 9 |
| 3. グリッド設定 | 2 | ■機械オプション | |
| 4. カタログ出力 | 3 | 25. 機械スタイル | 10 |
| 5. DXF・DWG 入力 用紙 縮尺 | 3 | 26. 2010 注釈 | 10 |
| 6. DXF・DWG 入力 線種 | 4 | ■2D3D インターフェース | |
| 7. DXF・DWG 出力 出力バージョン | 4 | 27. 図面転送 (3D → 2D) | 10 |
| 8. DXF・DWG 出力 用紙 縮尺 | 5 | ■その他のオプション | |
| 9. PDF 入力 文字 | 5 | 28. JIS 機械パーツ | 11 |
| 10. PDF 入力 線幅 | 5 | 29. SOLIDWORKS インターフェース | 11 |
| 11. PDF 入力 画像 | 5 | 30. " " スタイル設定 | 11 |
| 12. 上書線 | 5 | | |
| 13. スプライン | 5 | | |
| 14. パターンハッチング | 6 | | |
| 15. 重複線消去 | 6 | | |
| 16. 変形 | 6 | | |
| 17. 線分連結 | 6 | | |
| 18. 隠線表示 | 6 | | |
| 19. 部品一覧 | 7 | | |
| 20. 要素 | 7 | | |
| 21. 要素長 | 8 | | |
| 22. システム設定・検出 | 8 | | |

Ver.24.0 新機能

CADPAC-CREATOR Ver.24.0 で追加・拡張された機能の概要をまとめます。
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.23.0 からの差分です)

汎用機能

1. ニュートラルモード
文字要素のダブルクリックで、文字列編集コマンドが起動できるようになりました。また、選択した要素を [DEL] キーで消去できるようになりました。
[基本操作 2/ ニュートラルモードの編集コマンド起動]
2. 右パネル
文字列が表示しきれないとき、オンマウスでツールチップが表示され、文字列全体を確認できるようになりました。
[基本操作 4/ 右パネルの基本操作]



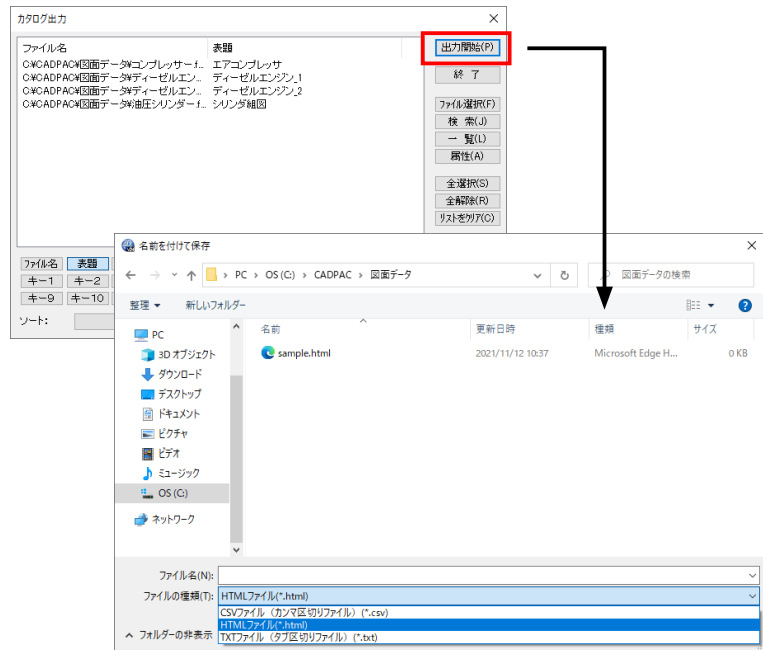
3. グリッド設定
グリッドを表示する度に、グリッド原点を毎回手動で指定できるモードを追加しました。
[基本操作 4/ モード設定]
[補助 / システム設定 / 色彩 / グリッド設定]



4. カタログ出力

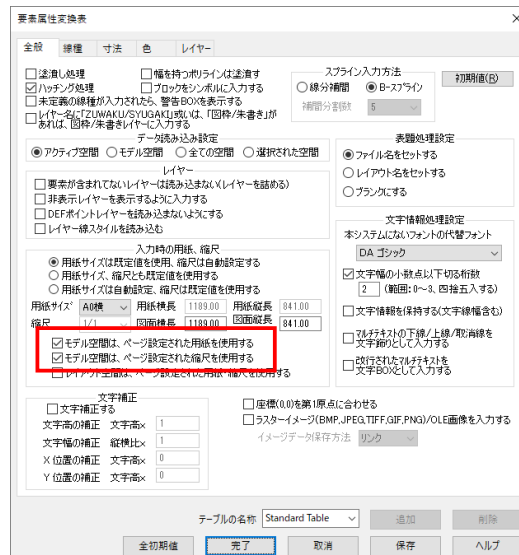
ファイル名、出力パス、ファイルの種類をダイアログボックスで指定できるようになりました。

[ファイル / カタログ出力]

5. DXF・DWG 入力
用紙 縮尺

AutoCAD のモデル空間に設定された「ページ設定」を読み込み、CADPAC の用紙サイズ及び縮尺として適用できるようになりました。

[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]



6. DXF・DWG 入力 線種

未定義線種を読み込んだとき、ユーザー定義線種に自動登録できるようになりました。

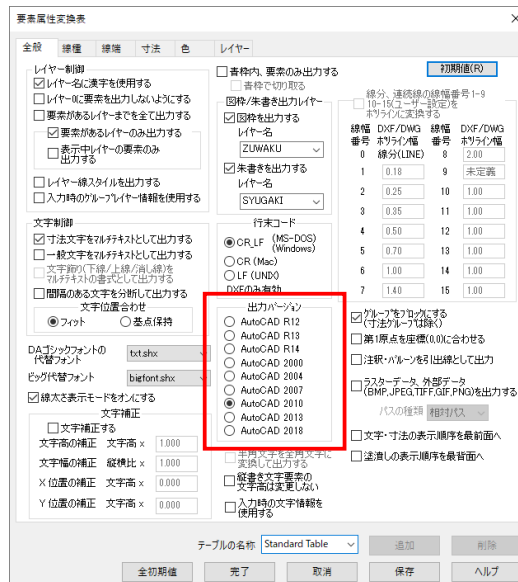
[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / DXF・DWG 入力]



7. DXF・DWG 出力 出力バージョン

出力バージョンの初期値を、AutoCAD 2000 から AutoCAD 2010 に変更しました。

[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]



8. DXF・DWG 出力
用紙 縮尺

出力時、元データの用紙サイズ・基準縮尺を AutoCAD のモデル空間のページ設定に反映するようになりました。
[ファイル / 外部変換 / 外部出力 / DXF・DWG 出力]

9. PDF 入力
文字

文字の入力精度が向上しました。
[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / PDF 入力]

10. PDF 入力
線幅

「倍率補正」を 1 倍 以外にした時、線幅は影響を受けないようにしました。
[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / PDF 入力]

11. PDF 入力
画像

PDF 内の画像に角度がついている時、角度を保持するようになりました。
[ファイル / 外部変換 / 外部入力 / PDF 入力]

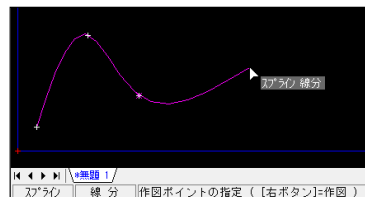
12. 上書線

中指定による図形抽出ができるようになりました。
[作図 / 直線 / 上書線]

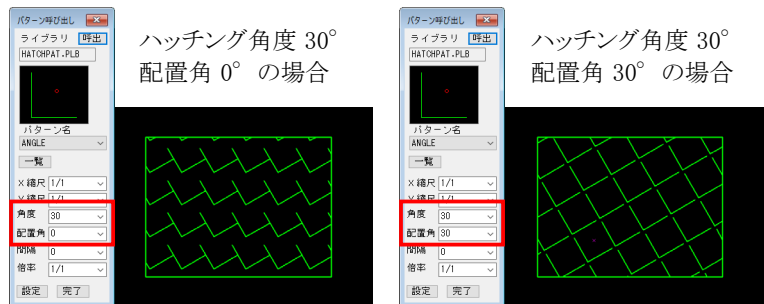


13. スプライン

作図時および変更時のポイントの指定中に、ラバー表示されるようになりました。
[作図 / 曲線 / スプライン]



14. パターンハッチング パターン呼び出しパネルから、ハッチング領域内の配置角度を指定できるようになりました。
[作図 / 面処理 / パターンハッチング]



15. 重複線消去 処理速度が向上しました。
[編集 / 消去 / 重複線消去]
16. 変形 設定「寸法引出線のみ検出された場合、寸法値の変更対象にする」チェックがオフの時、図形とともに寸法形状も変形するようになりました。
[編集 / 変更 / 変形]
17. 線分連結 同一グループ内の要素も、枠選択で線分連結できるようになりました。
[編集 / 変更 / 線分連結]
18. 隠線表示 CADPAC 再起動後も隠線表示のオン / オフ状態が保持されるようになりました。
[構成 / 隠線パーツ / 隠線表示]

19. 部品一覧

部品集計の検出対象から、機械部品の穴要素を除外できるようになりました。
 [構成 / 部品一覧]

20. 要素

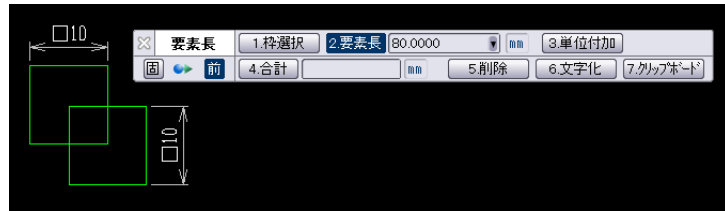
SIMA 入力した点要素の情報を確認できるようになりました。

[補助 / 計測 / 要素]

[専用 / 土木基本 / SIMA 入力]

21. 要素長

選択した複数要素の合計要素長を算出できる新コマンドを追加しました。
[補助 / 計測 / 要素長]

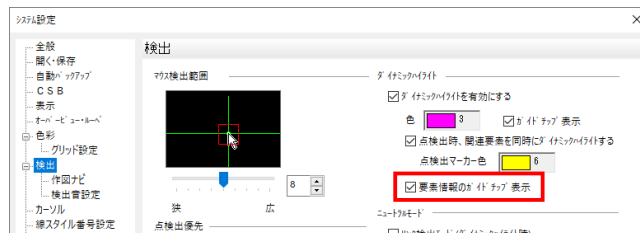


22. システム設定・検出

「要素情報のガイドチップ表示」のオン / オフを切り替えられる専用ツールバーを新規に追加しました。

[補助 / システム設定 / 検出]

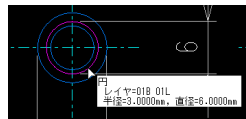
[基本操作 2 / 標準アイコンツールバー]



オン



オフ



新世代機能

23. 部品図作成

面図位置を指定するとき、原点に表示されている移動元要素がハイライト表示されるようになりました。

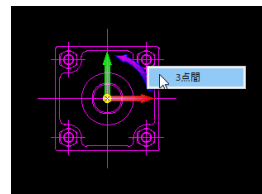
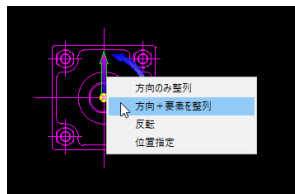
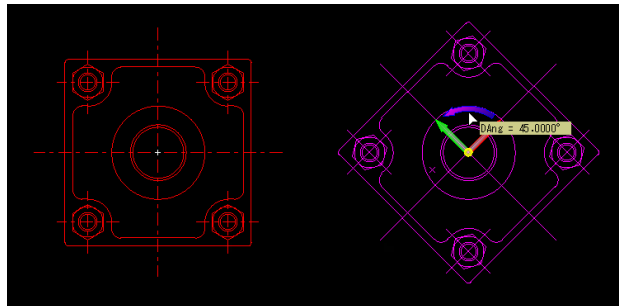
[新世代 / 部品 / 部品図作成]

24. ダイナハンドル

要素の移動・複写・回転を、ハンドルのドラッグや数値入力で感覚的に操作が出来る新コマンドができました。新世代機能を使用していない通常要素でも使用ができます。

[新世代 / ダイナハンドル / ダイナ移動]

[新世代 / ダイナハンドル / ダイナ複写]



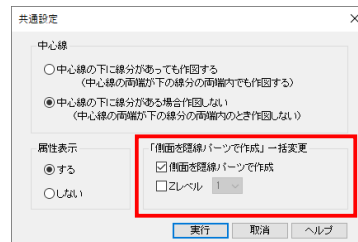
右クリックメニューで思い通りの移動・複写・回転ができます。

機械オプション

25. 機械スタイル

ボルト・ナット・ねじ・座金系の各作図コマンドの「側面を隠線パーツで作成」のオン/オフ、及びZレベルの指定を一括で変更できるようになりました。

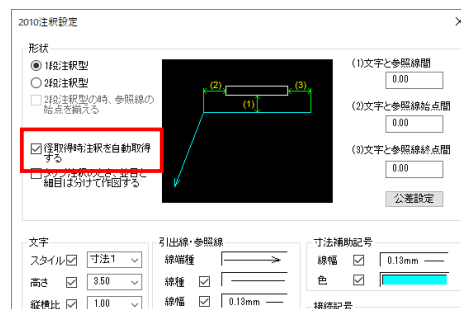
[専用 / 機械共通 / 機械スタイル]



26. 2010 注釈

設定の「径取得時注釈を自動取得する」の初期値をオンに変更しました。

[専用 / 機械定型 3/2010 注釈]



2D3D インターフェース

27. 図面転送 (3D → 2D)

一部の加工要素（タップ、ドリル穴、リーマ）が貫通穴の時、下面であっても全破線にはならないようにしました。

また、図面転送設定の「重複線消去を行う」にチェックがオンの時の重複線消去の処理速度を向上しました。

[2D・3D Interface/ 機能説明・操作]

その他のオプション

28. JIS 機械パーツ 部品ライブラリ

Ver.24.0用の最新部品ライブラリに更新されました。部品点数は約72万点です。保守期間中はPCに部品データをインストールせずに、オンラインでもご利用いただけます。

29. SOLIDWORKS インターフェース

SOLIDWORKS2022に対応しました。

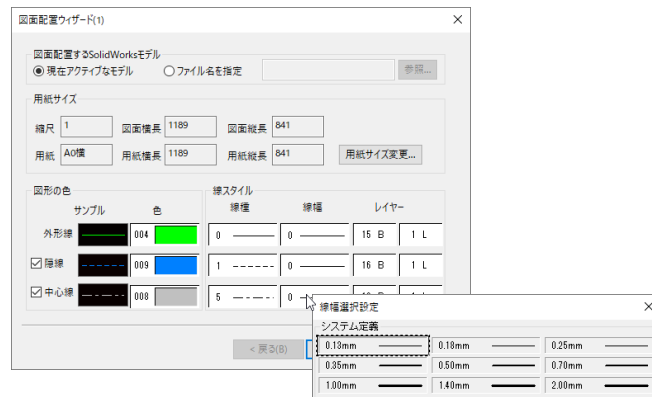
30. SOLIDWORKS インターフェース スタイル設定

図面配置・投影図追加・断面図配置コマンドのスタイル設定を、他コマンドで統一されている仕様に準拠し一新しました。

[専用/SWインターフェース/図面配置]

[専用/SWインターフェース/投影図追加]

[専用/SWインターフェース/断面図配置]



- ユーザー設定色を指定できるよう拡張
- 線幅を3種から9種に拡張
- レイヤー数を16B16Lから64B16Lに拡張